

科目名	指揮法(講義)	科目ナンバー	MU-MB1209-mT			
担当者 (実務経験名)	非常勤講師 山澤 洋之 (演奏家)					
履修期	2年 前期	卒業単位	選択 2単位			
免許・資格	中学校教諭二種(音楽)必修・音楽療法士(2種)選択必修					
授業概要	斎藤秀雄が確立した「サイトウ・メソード」をベースに指揮法の概略を学ぶことによって、指揮者の役割、指揮法とは何かを知り、指揮法の基礎を身につける。合唱・合奏のスコアの読み取り方も学習する。					
到達目標	知識・理解	指揮法の根本原理を理解し、楽曲の指揮に応用できる。				
	思考・判断	楽曲を分析し、最適と思われる指揮技法を判断して用いることができる。				
	興味・意欲・態度	指揮技法と音との関連性から演奏法の根本原理に目を向けて、各自の専攻に関する演奏法のヒントを発見する。				
	技能・表現	楽曲を深く分析し、最も相応しいテンポ・リズム・アクセント・イントネーションを明らかにしてそれを指揮の技法とし				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容		時間 (時間/週)	
	1	拍の概念と指揮法の原理	拍の概念について各自でまとめておく。30分ずつ4日間。		2	
	2	「叩き」	「叩き」の練習をしておく。30分ずつ4日間。		2	
	3	「平均運動」	叩き、平均運動の練習を続ける、30分ずつ4日間。		2	
	4	「しゃくい」	叩き、平均運動、しゃくいの練習、30分ずつ4日間。		2	
	5	「先入」「はね上げ」	④と同様の学習、30分ずつ4日間。		2	
	6	ピアノ譜による指揮	④と同様の学習、30分ずつ4日間。		2	
	7	オーケストラ・吹奏楽譜について	④と同様の学習、30分ずつ4日間。		2	
	8	合唱の指揮について	④と同様の学習、30分ずつ4日間。		2	
	9	実践演習(1)ブルグミュラー/25の練習曲から①	④と同様の学習、30分ずつ4日間。		2	
	10	実践演習(2)ブルグミュラー/25の練習曲から②	④と同様の学習、30分ずつ4日間。		2	
	11	実践演習(3)ブルグミュラー/25の練習曲から③	授業内容6の課題を実施		2	
	12	合奏指導と指揮について	授業内容7の課題を実施		2	
	13	総合演習(1)	楽曲全体のテクニックの復習、30分ずつ4日間。		2	
	14	総合演習(2)	楽曲全体のテクニックの復習、30分ずつ4日間。		2	
15	総合演習(3)	楽曲全体のテクニックの復習、30分ずつ4日間。		2		
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験	○	○			20%
	レポート					
	課題	○				20%
	実技		○	○	○	40%
	受講状況・態度 その他( )			○		20%
フィードバックの方法	教科書に含まれている課題を毎回実施します。					
教科書	資料は、随時配付します。					
参考書	「指揮法教程」斎藤秀雄著(音楽之友社) / J.ブルグミュラー「25の練習曲」					
アクティブ・ラーニング	毎回実習を行うアクティブ・ラーニングです。					
ICT活用	無し。					
メッセージ・備考	指揮棒を準備してください。種類は問いません。 講師の指揮者としての経験を活かし、授業を行います。					
関連科目	楽理論、和声、ソルフェージュ、ウインドアンサンブル、合唱、吹奏楽指導法、学内・学外演奏					